

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した事業の実施状況及び検証効果

(単位:円)

No	事業名	総事業費 (A)	補助対象事業費 (B) = (C) + (D) + (E) + (F)				事業実施状況	効果検証
			国庫補助額 (C)	交付金充当 経費(D)	起債額 (E)	その他 (F)		
1	感染防止マスク・消毒液等配備、配布事業	2,132,632	2,132,632		2,132,632		マスク27,500枚、アルコール300ℓ、体温計50個ほか	各施設における一次的な感染対策を強化することができた。
2	災害時における感染症拡大予防事業	4,337,520	4,337,520		4,337,520		(実績)27,280円×135個 (設置箇所)かたらい34、能公50、古公6、浜公30、北公6、七公9	7月豪雨等の影響により納品が10月となり実際に使用はしていないが、実物の議会等での披露の反応を見ると当初の目的通り避難者の3密回避等を確保できると考える。
3	夏季休業中における補充授業支援事業	1,609,700	1,609,700		1,609,700		特別支援教育支援員13人、学校生活支援員10人、学校適応指導教室支援員1人が臨時休校に伴う補充授業で13日分勤務	臨時休校に伴う夏季休暇中の補充授業に各支援員を配置し、児童生徒の学習保障を支援した。
4	新型コロナ対策農林漁業者緊急サポート給付金給付事業	6,390,000	6,390,000		6,390,000		申請件数31件	たまねぎ、花き、畜産農家と新型コロナの影響を大きく受けた分野の経営継続の支援ができた。
5	新型コロナ対策優良素牛導入助成事業	3,200,000	3,200,000		3,200,000		9件の畜産農家が32頭を導入	牛肉価格の低迷が続く中、肥育農家の意欲向上につながった。
6	貸切バス・タクシー・運転代行業事業継続支援事業	5,000,000	5,000,000		5,000,000		6/12～6/30 バス:10万円/台、1者へ3,100千円 タクシー:20万円/営業所等、2者へ1,000千円 運転代行:15万円/事業者、6者へ900千円	9者へ5,000千円を給付し、事業者の事業継続を支援した。
7	飲食店緊急支援事業	15,000,000	15,000,000		15,000,000		総事業費:25,533千円	68店舗が加盟 経済効果:1億2千万円
8	飲食店緊急支援事業(追加)	10,532,121	10,532,121		10,532,121		発行枚数:12万枚、換金枚数:105,221枚 発行期間:4/29～6/30、利用期限:7/12まで	外食産業の需要を喚起、飲食店を市民が一体となって支える機運を醸成し、飲食事業者の事業継続の下支えとなった。

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した事業の実施状況及び検証効果

(単位:円)

No	事業名	総事業費 (A)	補助対象事業費 (B) = (C) + (D) + (E) + (F)				事業実施状況	効果検証	
			国庫補助額 (C)	交付金充当 経費(D)	起債額 (E)	その他 (F)			
9	事業継続支援事業	72,177,951	72,177,951		72,139,970		37,981	5/11～6/10受付 休業協力型: 15万円、219者へ32,850千円 貸店舗型: 10万円、116者へ11,600千円 持続化型(法人): 20万円、66者へ13,200千円 持続化型(個人): 10万円、141者へ14,100千円	372事業者、71,750千円を給付し、事業継続を支援した。
10	消費喚起型小規模事業者緊急支援事業	72,873,986	72,873,986		72,873,986			総事業費: 120,430千円	275店が加盟し、233店で利用があった。 換金額: 115,068千円、利用率: 95.8% 経済効果: 3億4千万円
11	消費喚起型小規模事業者緊急支援事業(追加)	47,555,368	47,555,368		47,555,368			10,822世帯(28,767人)へ4千円分(500円×8枚)の割引クーポン券を発行、利用期間: 8/1～10/31	市民生活を支援するとともに、消費を喚起し市内事業者の事業継続を下支えた。
12	新型コロナウイルス感染症拡大防止事業	2,404,253	2,404,253		2,404,253			カメラ2式、体温計20個、アクリルパーテーション167枚ほか	窓口業務等における感染対策が強化され「新しい生活様式」の実践に資するものとなった。
13	廃棄物収集運搬業務における感染症拡大予防事業	792,980	792,980		792,980			ゴーグル78個、マスク50枚入り259個、ゴム手袋100枚入り259個、手洗い用洗剤5ℓ入り22個、手指消毒滅菌剤1ℓ入り120個・委託及び許可の6業者78名分、各事業者内で使用	・事業者内でのコロナ感染拡大(クラスター)を抑え事業継続ができた。 ・対策により従業員の危機意識が高まった。 ・対策により事業者の経費は、その他の対策費に活用することができた。
14	新型コロナウイルス感染症対策インフルエンザ助成事業	3,860,000	3,860,000		3,860,000			3,860人/15,203人 (助成者数/対象者数※16～64歳の人数)	全国的なワクチンの供給率とほぼ同率の助成ができた。(感染者は例年と比べて0.1%未満)
15	図書消毒機導入事業	844,250	844,250		844,250			・図書消毒機・・・6冊用・1台 ・設置個所・・・鹿島市民図書館	コロナ禍において衛生面の意識が高まる中、図書館で貸し出される図書や雑誌の、ホコリ・ウイルス・においなどを除去する目的で設置した。利用者のセルフサービスにより利用がされている。(令和2年度1449回)
16	コロナに負けずに健康アップ啓発事業	324,720	324,720		324,720			内訳: ポスター(100枚)94,600円 「歩こう 鹿島」のぼり旗(60基)230,120円 ※共に、各体育施設・各地区公民館など24箇所へ掲示・設置	県公式ウォーキングアプリSAGATOCOと連携したウォーキングコースを設定し、コロナに負けない心と体の健康アップの一助となった。また、県公式ウォーキングアプリSAGATOCOでのポイント付与となるスタンプラリー設定を行ったため問合せ等が数十件あった。

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した事業の実施状況及び検証効果

(単位:円)

No	事業名	総事業費 (A)	補助対象事業費 (B) = (C) + (D) + (E) + (F)					事業実施状況	効果検証
			国庫補助額 (C)	交付金充当 経費(D)	起債額 (E)	その他 (F)			
17	鹿島型高収益作物時期作支援交付金交付事業	4,797,000	4,797,000		4,797,000			対象者130件	新型コロナの影響を受けた高収益作物の次期作に前向きに取り組む生産者の上乘せ支援につながった。
18	新型コロナ対策農業生産資材廃棄物処理事業交付金交付事業	3,830,538	3,830,538		3,830,538			2回の回収でのべ348件	廃プラや廃農薬など、生産資材の廃棄にかかる農業者の経費負担を軽減することにより、経営支援を行った。
19	セーフティネット加入促進補助金交付事業	2,576,000	2,576,000		2,576,000			41件の加入	制度前の8件から41件と、収入保険の大幅な伸びにつながり、セーフティネットへの意識の向上につながった。
20	地区公民館Wi-Fi環境整備事業	1,716,000	1,716,000		1,716,000			フリーWi-Fiアクセスポイント数 ・鹿島公民館(からたい)・・・2箇所 ・能古見公民館・・・2箇所 ・古枝公民館・・・1箇所 ・浜公民館・・・1箇所 ・北鹿島公民館・・・1箇所 ・七浦公民館・・・1箇所	市内6地区の公民館にフリーWi-Fi設備を導入し、利用者・来館者の利便性向上を図った。WEB会議等オンラインを活用した事業のほか、災害発生時の避難所運営の際には、情報取得の手段としても活用が期待される。
21	WEB会議システム構築事業	3,680,292	3,680,292		3,680,292			・タブレット端末・・・13台 ・ノート型パソコン・・・2台 ・モバイルWi-Fiルーター・・・7台 ・スピーカーフォン・・・1台 ・WEBカメラ・・・1台 ・デジタルサイネージ・・・1台 ・ディスプレイスタンド・・・1台 ・WEB会議ソフト・・・2ライセンス ・インターネット通信費(2か月分)	コロナ禍のため、会議や研修、打合せ等がオンラインによる開催にシフトされ、その数も次第に増加していった。それに伴い、導入したタブレット端末やルーターの使用頻度も増加した。また、市主催のWEB会議等を開催する際にも使用している。 ○WEB会議等回数 2～3月・・・7回 4月・・・16回 5月・・・23回
22	タブレットパソコン購入事業	44,861,939	44,861,939		44,861,939			整備台数 2,023台	インターネットを使った調べ学習や、自分で撮影した写真を先生のパソコンに提出しそれを電子黒板に映して発表することやテーマに沿った意見をクラス全員で書き込んで共有するなどの授業を行っている。 また、様々な事情で教室に入れなかったり登校できない児童生徒にパソコンを貸し出し、授業をオンラインで見たり、児童生徒の理解度に応じた学習を行っている。
23	校内LAN整備事業	89,700,600	89,700,600		89,700,600			市内小中学校10校にWi-Fiのアクセスポイント272台を設置	1人1台パソコンを活用するためには高速大容量の校内無線LANが必要不可欠であるため全ての小中学校に整備を行いパソコンを活用することができた。

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した事業の実施状況及び検証効果

(単位:円)

No	事業名	総事業費 (A)	補助対象事業費 (B) = (C) + (D) + (E) + (F)					事業実施状況	効果検証
			国庫補助額 (C)	交付金充当 経費(D)	起債額 (E)	その他 (F)			
24	小中学校ICT支援員 配置事業	1,576,643	1,576,643		1,576,643			支援員1人を増員し配置	昨年度から導入した校務支援システムやGIGAスクール構想による1人1台パソコンを活用した授業の支援を行っている。
25	新生活様式対応ウェブ 商談会出展補助事 業	447,000	447,000		447,000			2つのウェブ商談会に参加したのべ16事業者分の登録費用を市で負担し販路 開拓を支援した。 ①地方銀行フードセレクション2020「データベース商談会登録料」352,000円 (参加事業者数:8社) ②Food EXPO Kyushu 2020「オンライン展示商談会登録料」90,000円 (参加事業者数:8社) ③オンライン商談講習会開催委託料(9/18) 5,000円(参加事業者数:4社)	従来の対面型商談会出展と比較すると事業者も市も安価な 費用負担・支援で済んだ。2つのウェブ商談会合計で18回の 商談に繋がった。 ※事後調査では、今回はウェブ商談会よりも従来の商談会 に出展を希望する事業者が多かった。
26	鹿島市ウィズコロナイ ベント補助金交付事 業	2,207,000	2,207,000		2,207,000			感染対策を施し実施するイベント等への助成 7団体へ2,207千円を交付	コロナ禍における地域活性化を支援、賑いを創出した。
27	鹿島市ウィズコロナツ アー催行事業	8,247,628	8,247,628		8,247,628			感染対策を施したツアー造成を支援 バス6社へ1,790千円、タクシー1社へ5,774千円、レンタカー2 社へ684千円、計9社へ8,248千円を交付	コロナ禍における誘客を促進し、将来の観光需要回復に向 け交通事業者等の事業継続も支援した。
28	ウィズコロナ観光DX (デジタルトランス フォーメーション)推進 事業	6,500,000	6,500,000		6,500,000			新たな観光VRサイトの開設、通販システムの開発	オンラインイベントの開催、バーチャルツアーの企画、地場 産品の通販等、コロナ禍における観光産業の基盤強化を推 進した。
29	「新しい生活様式」に 即した誘導型クーポン 券発行事業	69,999,221	69,999,221		59,598,221		10,401,000	発行枚数:30万枚、換金枚数:280,016枚 発行期間:11/21~3/23、利用期限:5/31まで	99店舗が加盟 ※第2弾では生鮮食料品店、酒屋等を対象に追加 経済効果:3億1千万円 外食産業の需要を喚起、飲食店等を市民が一体となって支 える機運を醸成し、飲食事業者等の事業継続の下支えと なった。
30	子ども・子育て支援交 付金	3,217,454	2,899,604	1,072,000	755,604		1,072,000	R2.4、5月分支援員報酬2,683千円(4月75人分、5月70人 分)、4、5月分保護者負担金還付金491千円、電気代44千円	小学校臨時休校時にクラブ開始時刻を早めることにより、労 働により保護者がいない家庭を支援できた。クラブ利用を自 粛した家庭に対し利用料還付を行うことで、家庭への支援と 感染症拡大防止を図ることができた。

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した事業の実施状況及び検証効果

(単位:円)

No	事業名	総事業費 (A)	補助対象事業費 (B) = (C) + (D) + (E) + (F)				事業実施状況	効果検証
			国庫補助額 (C)	交付金充当 経費(D)	起債額 (E)	その他 (F)		
31	学校保健特別対策事業費補助金	808,356	808,000	404,000	404,000		補助対象経費:児童生徒数2,377人×340円 保健衛生用品の購入(マスク、消毒液など)	学校の一斉臨時休校後の再開時において、必要な保健衛生用品を購入することができた。
32	学校保健特別対策事業費補助金	12,023,832	12,000,000	6,000,000	6,000,000		事業費:100万円(能古見小、古枝小、浜小、北鹿島小、七浦小、音成分校、東部中) 150万円(鹿島小、明倫小)、200万円(西部中) 購入したもの:マスク、消毒液、非接触型体温計、CO2マネージャ、壁掛け扇風機、修学旅行時バス代など	各小中学校へ、児童生徒数に応じた金額をそれぞれ予算配当することで、校長の判断で感染症対策、熱中症対策及び学習保障に、迅速かつ柔軟に対応することができた。
33	教育支援体制整備事業費補助金	8,633,853	7,443,924	4,462,000	2,981,924		【新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた学習支援事業】 ・学習支援員8人の会計年度任用職員を配置(東部中学校以外に1人づつ)(8/24以降随時採用し学校へ配置) 【スクール・サポート・スタッフ配置事業】 ・シルバー人材センターに派遣業務委託 ・8/24以降に各小中学校に1人配置 ・主に校内の消毒作業を実施	【新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた学習支援事業】 新型コロナウイルス感染症の影響により学習内容の定着が不十分な児童生徒に対してきめ細かな支援を行うことで学びの保障を実現し、合わせて教職員の負担軽減につながった。 【スクール・サポート・スタッフ配置事業】 各小中学校に1人づつ配置して、校舎内の消毒作業を行ったため、教職員の負担軽減につながった。
34	学校臨時休業対策費補助金	755,000	755,000	566,000	189,000		臨時休校期間中(3/24から春休みまで)において、事業者にすでに発注されていた食材(パン、米飯、めん等)の加工賃を対象に補助 補助額: 予約申込対象経費839,039円×90%=755,000円	米飯・パン納入業者1社に対して、臨時休校時における費用補填ができた。
35	生活困窮者就労準備支援事業費等補助金	2,000,000	1,900,000	1,500,000	400,000		社会福祉協議会委託(事務職員雇用、カメラ付きPC購入等)	業務が増大した社会福祉協議会の人員強化を図った。
36	ひとり親臨時特別給付金(市独自支給分)	1,450,000	1,450,000		1,450,000		市単独分20世帯	国給付金の対象とならないR2.7月以降に児童扶養手当支給となった対象者に対し、市独自で給付金を支給することにより、子育てと仕事をひとりで担うひとり親世帯への支援を行うことができた。
37	市内小学校電子黒板整備事業	1,711,380	1,711,380		1,711,380		1年生学級増による電子黒板一式購入2台(北鹿島小、明倫小) リモート等のためのパソコン更新2台(浜小、七浦小)	児童生徒の学習意欲の向上のため授業を行う上で必要不可欠なツールとなっている。 また、新型コロナウイルス対策としてオンラインでの校内集会を行っている。

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した事業の実施状況及び検証効果

(単位:円)

No	事業名	総事業費 (A)	補助対象事業費 (B) = (C) + (D) + (E) + (F)				事業実施状況	効果検証
			国庫補助額 (C)	交付金充当 経費(D)	起債額 (E)	その他 (F)		
38	タブレットパソコン購入 事業(小学校低学年 用)	25,288,731	25,288,731		25,288,731		整備台数 440台	No.22タブレットPC配備事業(小3～中3)と同じ
39	事業継続支援事業 (追加対策)	14,860,000	14,860,000		13,760,000	1,100,000	第2弾:2/22～4/30 休業協力型:36万円、15者(16店)へ5,760千円 持続化型:10万円、91者へ9,100千円	第2弾では106事業者へ14,860千円を給付し、事業者の事業 継続を支援した。
合計		559,923,948	558,291,981	14,004,000	531,677,000	0	12,610,981	